

■ 当社は、2023年8月に「資本収益性の向上に向けた取り組みについて」を公表し、以下の基本方針に基づいた取り組みを進めてまいりました。

資本収益性の向上に向けた基本方針

人材投資をはじめとする成長投資を実践することで、利益の持続的な伸長を図るとともに、株主還元の充実等により適正な資本構成を実現します。⇒ROEの向上にフォーカスした取り組みを進めます。

利益拡大

「2025年3月期（連結業績）」	「2026年3月期（連結業績）」
営業利益：8,073百万円	営業利益：8,822百万円
経常利益：8,536百万円	経常利益：9,327百万円
純利益※：5,173百万円	純利益※：7,500百万円

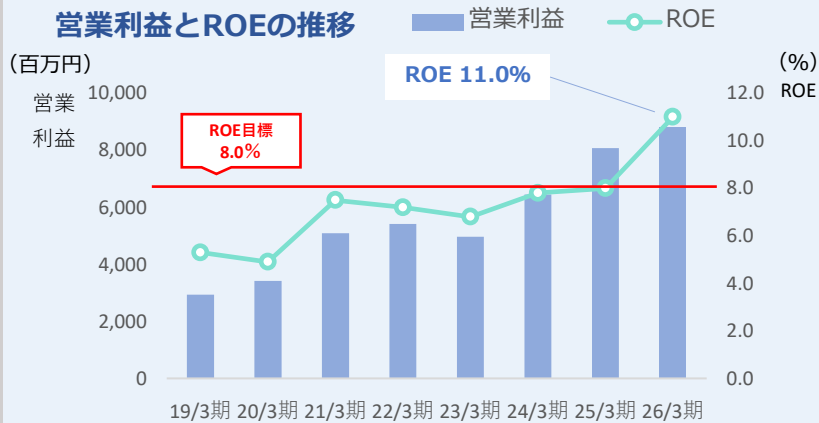
⇒

※親会社株主に帰属する当期純利益

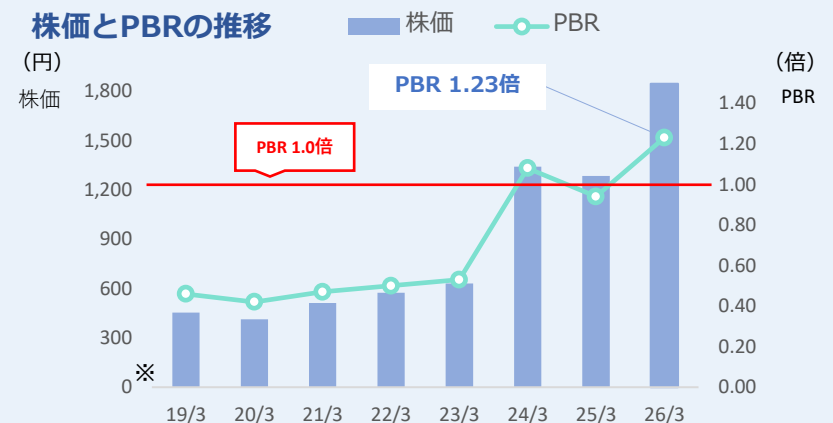
資本構成適正化

2026.1.30、2026.4.23「配当予想の修正（増配）」
業績予想の上方修正に伴い実施
⇒ 年間配当金：65円⇒77円（前年度比+12円）

営業利益とROEの推移



株価とPBRの推移



※末日現在で表しています。株価は分割後換算値。

『中期経営指針2025』では、株主還元方針を「連結配当性向40%以上」としてありますが、2026年1月に策定・公表した『中期経営指針2030』（対象期間：2026年度～2030年度）において、ROE10%目標の達成に向けた資本構成の適正化を企図し、株主還元方針を「**連結配当性向60%程度・DOE5.0%程度を目安**」に変更いたしました。